

南方公民館 12月4日(火)

意見交換会での質問と回答

区分	質問	回答
議員定数	<p>会派・議員で定数に対する考えがそれぞれ違うが会派別に示している根拠は。</p> <p>私たち市民に意見を求める前に、議会として統一した考えを議論して持ってくるべきでは。</p>	<p>議員定数削減にあたり、市民からの多くの負託に応えるには、議会及び個々の議員活動をさらに活性化しなければなりません。</p> <p>しかしながら、人口減少や行財政改革推進のなか、議会としても歳費縮減を目指し定数を削減するもので、定数を4人減の26人としました。</p>
議員定数・議員選挙	<p>旧町域ごとの選挙区制代表の議員選挙は出来ないのか。</p>	<p>今の選挙制度では、政令都市以外は出来ません。</p>
意見交換会	<p>議会基本条例は作ったがその通り活動していないのでは。報告会で迫会場でも10名程度の参加だった。6月の報告会でも全体で100名程度。つまり、市民は議員を信頼していないし、なにも期待していないということではないか。議員が日頃から地域に入り活動していれば、今回の意見交換会にも多くの市民が参加したのではないのか。</p>	<p>議会基本条例を制定したのは、制定が目的ではなく、まさに市民から信頼され、期待される議員、議会になっていくため制定しました。</p> <p>今年、スタートを切ったところですので、今後努力してまいります。</p>
公民館・指定管理	<p>9月の定例会で23年度の公民館の主催事業で米谷公民館が114回、南方公民館が14回と開きがあり、活動がおもしろくない管理者には助言すべきとの質問があり、部局で精査し、対応すると回答していたが、1、各教育事務所での統計のとり方に統一性は図られていたのか。2、精査した結果の報告はどのようになっているのか。3、統計のとり方に統一性がなかったとしたら今後の対応は、これらを書面、広報等で知らせてほしい。</p>	<p>指定管理した公民館の事業実績の集計の取り方に差異があったため、南方公民館の実績が14回と著しく少なくなりましたが、同様な方法で集計すると106回ほどの利用がみられました。今後は、教育委員会に対し、指定管理者との連携を密にし、集計方法の改善と指導の統一化を図られるよう申し入れました。</p>
震災復旧	<p>災害復旧に何年かかるのか。議員がいる地域の復旧は早く進められると聞くが本当か。</p>	<p>入札執行の状況については、平成23年8月頃より不調等となる割合が高くなっていますが、この原因は、建設資材や技術者も含めた労働者の不足、人件費や原材料の高騰があるものと考えております。本市としましては、震災の災害復旧工事に重点を置きながらも、並行して施工する必要がある通常分の工事も含めてスムーズな発注を進めるため、昨年6月以降、入札契約制度の改正等を行っています。2,000件以上の被害があった住家・非住家の解体撤去事業は、期限を延長して対応させました。教育施設は53施設が被害を受け、現在、51施設が復旧完</p>

区分	質 問	回 答
		<p>了していますが、甚大な被害があり建て替え工事となった石越中学校は、平成 25 年度中に完了するよう入札手続きを行う予定です。東和総合グラウンドは、平成 25 年度完成を目指し事業をすすめています。道路・下水道では、本年度、前年度からの繰越を含む約 50 億円の復旧事業に取り組んでおり、1月 11 日時点での全体の進捗率は、約 53%となっています。下水道施設に関する補助災害復旧は、43 件中 23 件が年度内に完成する見込みですが、20 件は平成 25 年度に繰り越す予定としています。道路補助災害復旧事業は、278 件中 210 件が年度内に完成する見込みですが、68 件は平成 25 年度に繰り越す予定としています。</p>
防災計画	<p>防災計画の見直しは、どのような見直しをしているのか、原発事故を想定して検討しているのか。また公共施設適正化配置計画の委員会は動いているのか。</p>	<p>登米市地域防災計画の見直しは、特に震災編について、東日本大震災における本市の対応・教訓を踏まえて、災害対策本部の運営、情報収集・伝達、来庁者、庁舎の安全確保、職員の配備体制、避難所の開設・運営、ライフラインの確保、物資調達・供給等について検証を行い、修正が進められています。また、本市は女川原子力発電所から半径 30 km圏内であることから、平成 25 年3月 18 日までに、原子力事故を想定した地域防災計画原子力災害対策編の策定が義務付けられています。そのため、現在、国、県と協議を行いながら、策定に向けた素案作成が行われている段階です。公共施設適正配置計画については、市民と職員で組織する「登米市公共施設適正配置計画策定委員会」を組織し、計画策定に向け取り組んでいるところです。現在は平成 24 年度末までに策定予定としている基本方針案について検討されており、これまで11月 21 日と12月 19 日の2回委員会が開催されました。今後、平成 25 年1月中旬と2月に予定しているパブリックコメント終了後、3月に策定委員会が開催される予定となっています。</p>
農地転用	<p>太陽光発電を推進するためにも農地の転用の事務手続きの簡素化を図ることを考えては。</p>	<p>ご質問の趣旨は十分理解できますが、農地転用の許可に係る基準の確認のため、ある程度の添付書類等は必要です。転用の許可権者である県や県農業会議と協議しながら、事務手続きの簡素化を働きかけていきます。</p>
畜産振興	<p>5年後に宮城県で開催される、全国和牛共進会に対する何らかのアクションを起こしてもらいたい。</p>	<p>平成 29 年に開催される第 11 回全国和牛能力共進会宮城県大会(宮城全共)に向け、平成 24 年 7 月に県、市町村、畜産関係団体から構成する実行委員会が設立されています。</p> <p>本市は県内畜産の主産地であり、本大会の成功と繁殖及び肉牛の上位入賞を目指し、基礎牛の育成・増頭を図りながら、積極的に大会を盛り上げ支援していきます。</p>

意見交換会でのご意見・提言・要望

区 分	ご意見・提言・要望
議員定数	<p>隣の町がどうかの比較でなく登米市議会、議員がこれからどのような活動を目指すのかを基本に定数を決めるべき。</p> <p>定数問題は次の選挙前に結論を出してもらいたい。</p>
議会運営・議員活動	<p>議員、議会には机の上での議論でなく、自らの足で現場に出向き、活動する事こそが求められている。</p>
通年議会	<p>市民目線で活動するのであれば、災害時等に議会がすぐに開催し、活動できる通年議会を進めてもらいたい。</p>
指定管理	<p>指定管理制度の受ける側の資質の向上を求める発言が議会であったが資質の向上のための接遇、処遇の問題なども、議決機関としての議会としては十分精査してから議決してもらいたい。更に議員定数を問題にする前に、現場に出向いて何が問題なのかを充分調査することこそ必要では。</p>